

函館市医療・介護連携推進協議会
多職種連携研修作業部会 第11回会議

日時：令和2年2月27日（木）19：00～

場所：函館市医師会病院 5階講堂

【次第】

1 開 会

2 議 事

○報告事項

- (1) 平成31年度 多職種連携研修計画 実施報告（資料1, 2, 3, 4）
- (2) 各関係団体窓口一覧の作成, 配布, 掲載について（資料5, 6）
- (3) 研修情報の一元化と提供について（資料7）

○協議事項

- (1) 令和2年度 多職種連携研修計画（案）について（資料8）

3 その他

- (1) 次回の部会日程について

4 閉 会

【配付資料】

- 1 平成31年度 多職種連携研修計画 実施報告
- 2 平成31年度 多職種連携研修計画
- 3 第5回 函館市医療・介護連携多職種研修会 アンケート集計結果 分析
- 4 施設看取り研修会 アンケート集計結果
- 5 各団体窓口掲載文書
- 6 各関係団体窓口一覧の作成に関する規定
- 7 ホームページ上で掲載した研修情報一覧（平成31年4月～令和2年2月）
- 8 令和2年度 多職種連携研修計画（案）

(1) 平成31年度 多職種連携研修計画 実施報告

① 医療関係者向け研修会

テーマ：介護サービスの概要と役割（医療との連携）

講師：医療法人社団函館脳神経外科指定居宅介護支援事業所
管理者・主任介護支援専門員 宮城 智美 様

参加者：

令和元年5月30日(木)(函館新都市病院) 76名(院内43名, 院外33名)

令和元年8月23日(金)(函館渡辺病院) 78名(院内53名, 院外25名)

令和2年2月12日(水)(函館市医師会病院) 51名(院内21名, 院外30名)

② 介護関係者向け研修会

テーマ：正しい病院のかかり方（医療介護連携編）

講師：社会福祉法人函館厚生院 函館五稜郭病院
法人内・法人外連携推進担当課長 船山 俊介 様

場所：函館競輪場テレシアター

参加者：令和元年5月28日(火) 199名

令和元年8月20日(火) 134名

令和2年2月28日(金) ※予定

③ オープンカンファレンス

令和元年8月22日(木)(函館中央病院) 138名(院内34名, 院外104名)

令和2年1月29日(水)(函館五稜郭病院) 123名(院内24名, 院外99名)

④ 意見交換会

各関係団体窓口一覧の作成, 配布, 掲載 ⇒ 報告事項(2)へ

⑤ 看取り

1) 第5回函館市医療・介護連携多職種研修会

日時：令和元年11月30日(土) 14:00～17:00

場所：函館国際ホテル

テーマ：地域での看取りを知る～多職種の視点からみた看取りの実際～

内容：○シンポジウム

【座長】

医療法人道南勤労者医療協会函館稜北病院

内科医長・訪問診療科科长 横倉 基 先生

【シンポジスト】

特別養護老人ホーム旭ヶ岡の家

生活相談員・介護支援専門員 南部 雄一 様

株式会社ケア・スキル ヘルパーステーション 笑福

ケア管理者・サービス提供責任者 山口 瑞穂 様

市立函館病院

病棟副看護師長 沖崎 香代子 様

○グループワーク

参加者：307名

グループワーク参加者：184名（シンポジスト・ファシリテーター・センター職員等含む）

聴講席参加者：123名

懇親会参加者：98名

アンケート結果：回収～209件

2) 函館市医療・介護連携『施設看取り研修会』

日時：令和元年9月25日（水） 19：00～20：00

場所：函館競輪場テレシアター

内容：函館市内の施設による看取りケア事例の報告

医療法人大庚会 グループホーム街

管理者・計画作成者 生田 友希 様

地域密着型特定施設 介護付有料老人ホーム 白ゆり乃木

生活相談員 大黒 玲央奈 様

参加者：150名（施設関係者及び協力医療機関の医師等）

アンケート結果：回収～116件

⑥ 入退院支援

1) 『はこだて入退院支援連携ガイド』を活用した研修会（退院支援分科会主催）

日時：令和元年10月10日（木） 18：30～20：00

場所：函館市医師会病院 5階講堂

内容：○事例提供

○グループワーク

「事例をもとにガイドを活用し適切な連携の在り方」を考える

参加者：40名

（ケアマネジャー・包括職員・訪問看護師・退院支援看護師・MSW・病棟看護師等）

2) 『入退院支援連携強化研修会』（情報共有ツール作業部会主催）

第1回目

日時：令和元年7月11日（木） 15：00～17：00

場 所：函館市医師会病院 5階講堂

内 容：○はこだて医療・介護連携サマリー説明

○講演

「急性期病院における入退院支援に必要な情報共有の内容やタイミングについて」

講師：函館中央病院 退院支援看護師 奥山 ちどり 様

○グループワーク

「入退院支援の中で、急変時病院と協働して（利用者さんのために）できること」

参加者：45名

（東部・東央部第1・東央部第2 圏域内の地域包括支援センター職員，居宅介護支援事業所ケアマネジャー，小規模多機能型居宅介護の職員，看護小規模多機能型居宅介護の職員等）

第2回目

日 時：令和元年9月11日（水） 15：00～17：00

場 所：函館市医師会病院 5階講堂

内 容：上記同様

参加者：45名

（西部・中央部第1・中央部第2 圏域内圏域内の地域包括支援センター職員，居宅介護支援事業所ケアマネジャー，小規模多機能型居宅介護の職員，看護小規模多機能型居宅介護の職員等）

第3回目

日 時：令和元年12月11日（水） 15：00～17：00

場 所：函館市医師会病院 5階講堂

内 容：上記同様

参加者：34名

（北東部第2・北部 圏域内の地域包括支援センター職員，居宅介護支援事業所ケアマネジャー，小規模多機能型居宅介護の職員，看護小規模多機能型居宅介護の職員等）

第4回目

日 時：令和2年2月13日（木） 15：00～17：00

場 所：函館市医師会病院 5階講堂

内 容：上記同様

参加者：25名

（北東部第1・北東部第3 圏域内の地域包括支援センター職員，居宅介護支援事業所ケアマネジャー，小規模多機能型居宅介護の職員，看護小規

模多機能型居宅介護の職員等)

⑦ 急変時対応 ※予定

『急変時対応研修会』

日 時：令和2年3月12日（木） 19：00～20：30

場 所：函館競輪場テレシアター

内 容：○パネルディスカッション

【座長】

函館中央病院 総合医療支援センター 地域医療連携課 課長 亀谷 博志様

【パネリスト】

市立函館病院 医療連携課 主査 荒木 英世様

高橋病院 医療福祉相談・地域連携室 室長 石井 義人 様

函館市地域包括支援センターたかおか 施設長 松野 陽 様

⑧ 函館市における多職種連携への理解の促進（出張講座の実施）

『北海道看護協会道南支部・道南北支部共催 看護管理者懇談会』

日 時：令和元年9月7日（土） 13：30～15：00

場 所：函館五島軒本店

内 容：「地域における医療介護連携の現状と課題」

参加者：60名

⑨センター主催研修会への見学参加（出前講座の実施）

1) 北海道教育大学函館校

日 時：令和元年6月17日（月） 16：20～17：50

内 容：「函館市における医療・介護連携について」

参加者：13名

2) 学校法人西野学園 函館臨床福祉専門学校

日 時：令和元年7月29日（月） 14：50～15：50

内 容：「函館市における医療・介護連携について」

参加者：60名

【平成31年度 多職種連携研修計画】

目的（テーマ）	内 容	形 式				定 員	時 期
		規模（会場）	形 態	対象者	レベル		
(1) 相互理解の促進	① 医療関係者向け研修 『介護サービスの概要と役割（医療との連携）』 講師：医療法人社団函館脳神経外科指定居宅介護支援事業所 管理者・主任介護支援専門員 宮城 智美 様	中規模	座学講義	医療関係者	初級～中級	100名程度	5月 8月 2月
	② 介護関係者向け研修 『正しい病院のかかり方（医療介護連携編）』 講師：社会福祉法人函館厚生院 函館五稜郭病院 法人内・法人外連携推進担当課長 船山 俊介 様	中規模 （テレシアター）	座学講義	介護関係者	初級～中級	100名程度	5月 8月 2月
	③ オープンカンファレンス 『多職種による症例の振り返りと共有』	中規模	対話体験（事例報告）	医療・介護関係者	初級～上級	100名程度	随時
	④ 意見交換会 ※各団体への調査実施	未定	未定	未定	未定	未定	未定
(2) 連携強化	⑤ 看取り 1) 大規模研修会 『それぞれの場所での多職種による看取りの実際』 2) 施設看取りへの支援 『施設等での看取りケアの好取組事例報告』	大規模 （国際ホテル） 中規模 （テレシアター）	対話体験（シンポジウム・GW） 座学講義	混合 介護関係者	中級～上級 中級～上級	300名以上 100名程度	11月30日 9月
	⑥ 入退院支援 「はこだて入退院支援連携ガイド」活用促進 「はこだて医療・介護連携サマリー」活用促進 ※各団体・各機関との共催 ※退院支援分科会・情報共有ツール作業部会との協働	小規模	対話体験（事例検討・GW）	実務者	中級～上級	30名程度	未定
	⑦ 急変時対応 『高齢者の急変から病院受診（救急搬送）の事例報告』	中規模	対話体験（シンポジウム）	医療・介護関係者	中級～上級	100名程度	3月予定
(3) 多職種連携の 専門性の向上	⑧ 函館市における多職種連携への理解の促進 ※各団体・各機関との共催 ※出張講座メニュー（別紙）	小規模	座学講義 講師：センター職員	医療・介護関係者	初級～中級	30名程度	随時
(4) 人材育成	⑨ センター主催研修会への見学参加 ※各医療・介護系の学校への案内	随時	見学・座学講義	医療・介護学生 （教員）	未経験者	数名	随時

R1.11.30 第5回 函館市医療・介護連携多職種研修会
アンケート集計結果 分析

資料 3

n = 209 (回収率 68.1%)

1. 所属機関をお聞かせください。

・病院	44	(21.1%)
・診療所	2	(1.0%)
・歯科診療所	3	(1.4%)
・薬局	14	(6.7%)
・地域包括支援センター	22	(10.5%)
・居宅介護支援事業所	32	(15.3%)
・介護保険事業所	47	(22.5%)
・その他	45	(21.5%)

2. 職種をお聞かせください。(複数回答可)

・医師	3	(1.4%)	・栄養士	1	(0.5%)
・歯科医師	2	(1.0%)	・柔道整復師	3	(1.4%)
・薬剤師	13	(6.2%)	・鍼灸師・マッサージ師	12	(5.7%)
・保健師	6	(2.9%)	・介護支援専門員	55	(26.3%)
・看護師	37	(17.7%)	・相談員	32	(15.3%)
・リハビリスタッフ	6	(2.9%)	・事務員	7	(3.3%)
・歯科衛生士	10	(4.8%)	・その他	30	(14.4%)

3. 開催日時(土曜日の午後)はいかがですか？

・良い	158	(75.6%)
・どちらともいえない	47	(22.5%)
・良くない	4	(1.9%)

【ご意見等】

- ・ 土曜日午後は業務量がやや少なく参加しやすいです。
- ・ 開始時間をもう少し遅らせてほしい。
- ・ 今日の場合のように電車から近いところでの開催だと助かります。
- ・ 懇親会に出席するので土曜日でもいいです。
- ・ 曜日や時間は良いですが、月末でなければ尚参加しやすいかなと思います。
- ・ もっとあったかい時期が好きです。
- ・ 医療関係者が参加しやすい日時が良いと思います。
- ・ 12月だと忙しいので11月は良いと思う。
- ・ できれば平日にお願いしたい。
- ・ 休日に参加すること。
- ・ 土曜日の午後が良いですが、薬局の薬剤師は15時スタートだとありがたいです。
- ・ できれば午前を希望。
- ・ 仕事柄もう少し遅いスタートだとすべてに参加できたのにと残念です。
- ・ 日中の研修であれば平日より土曜日の方が出席しやすい。平日の夕方は仕事で出席できないことが多い。

4. 研修会を受講し、ご自身の理解は深まりましたか？

・深まった	189	(90.4%)
・どちらともいえない	20	(9.6%)
・あまり深まらなかった	0	(0.0%)

【ご意見等】

- ・「看取り」は看取り前の段階から誰にも関わりのあることだと思いました。生きている誰もが自分の「死」について考えていくべきだと思います。
- ・多職種の考え方が参考になりました。
- ・看取りの経験がなかったので、看取りの調整の大変さが分かった。
- ・多職種、他職種の方との交流が少ないので、色々な意見を聞くことができ良い場となった。
- ・普段関わりの少ない職種の方との意見を交換し、専門職の視点、それぞれを学ぶことができました。
- ・様々な現場の看取りの現状がわかり、有意義でした。ありがとうございました。
- ・施設、在宅、病院での看取りの違いが聞け、大変参考になりました。前回(昨年)のシンポジウムとはまた違って良かったです。
- ・GWでの訪看さんの意見はとても参考になりました。
- ・それぞれの立場での看取りのかかわりの実際や思いを聞くことができ良かったです。
- ・まだまだ足りない。繰り返し参加し、理解を深めたい。
- ・人生の最期について事前に考える事の大切さは理解できて、連携することの大切さはわかったが、看取りの実際について考えが深まったとは思えなかった。
- ・看取りに関わる方の工夫や葛藤などを知り、より理解が深まりました。誰にでも平等に訪れる死というものが普段は全く意識していなかったことがわかり、今後の支援において今回の研修を参考にさせて頂きたいと思います。
- ・多職種の多様な考え方を知れて良い。
- ・看取りだけではなく、医療・介護についての知識を沢山の職種で共有していけたらいいと思いました。
- ・多職種の人との意見がいろいろ聞けて良かった。
- ・他の職種の考え方が聞けて参考になりました。
- ・自分の施設以外のお話を聞けるのは、貴重でとてもためになった。気持ちをゼロに戻すことができるので、とても新鮮だった。
- ・出席して良かったです。
- ・在宅への訪問について看護事業所の方の話が自分の意識と違いとても勉強になった。
- ・もっといろいろな人の意見を聞きたかった。
- ・看取りを支える側の支える仕組み(つながり)を考えることが大切だと思った。グリーフケアやデスカンファも大切だと思った。
- ・ヘルパーさんが普段抱えている不安や悩みを具体的に知り、今後の連携に活かしていけると思った。
- ・看取りの実際のテーマで期待していたが、もっと踏み込んだもの(事例を含めて)が聞きたかった。病院はまた別の感動があった。
- ・病棟Nsケース発表では、貴重なお話が聞けて良かったです。どう生きるか、と同じくどう死を迎えるか考えることがすべての世代で必要なことだと思いました。
- ・職種や施設の形態の違いによって様々な見方があることを確認できました。
- ・誰のための看取りなのか？家族の意志が強いような気がします。
- ・仕事の関係であまり理解できませんでした。大変そうなのはわかりました。

5. 今回のような介護関係者向けの研修会を続けてほしいですか？

・続けてほしい	201	(96.2%)
・どちらともいえない	8	(3.8%)
・続けなくてもよい	0	(0.0%)

【ご意見等】

- ・規模は小さくても良いので研修会の回数がまだ多くあればと思います。(例:施設をメインにした研修。在宅をメインにした研修。)
- ・これから看取りをしてほしいと要望されるご本人やご家族が増えると思います。様々なケースがあると思うので、事例で学ぶ機会があるといいと思います。
- ・今後このような研修会を定期的に続けてほしいと思いました。
- ・このような多職種がたくさん集まる会はないと思いますので、これからもぜひ続けてほしいです。
- ・続けることに意義があると思う。
- ・年に3回くらいあるともっと良い。
- ・多職種の方々とこんなに大勢で話す機会が無いので。
- ・自分たちの職種ではなじみのない事柄を勉強するよいチャンスだと思う。ほかの職種の考え方などを知ることができる。
- ・1つのテーマについて多職種の意見を聞き、知る事の大切さを感じました。ありがとうございました。
- ・医療介護多職種による研修は今後も継続してほしい。各立場により、情報がまだまだ少ないし、情報共有の機会が必要と思う。
- ・大変ためになる。
- ・院外に出てお話を聞けることは貴重。
- ・ぜひお願いします。
- ・医療・介護の共同研修は非常にためになります。
- ・自分の勉強不足な部分があり、グループワークにうまく意見を出すことができなかった。次回以降に向けて課題となったため。
- ・普段直接連携することの少ない職種と意見交換できる良い機会と思います。
- ・普段、関わることのない職種のケアの実際や意見が聞けてとても勉強になった。
- ・他職種間での情報共有ができるので良かった。
- ・病院、病気、疾患ごとの状態の変化等は介護職は学ぶ機会が少ないと思うのでよい学びの場になると思います。
- ・市外の方にもお声かけていただきありがとうございます。
- ・いろんな方と交流していきたいと思っています。
- ・色々な立場、職種の方とお話できることがとても参考になります。

6. 今後、どのような内容の研修会を希望されますか？

【具体的な内容等】

※別紙をご覧ください。

7. その他、ご意見

※別紙をご覧ください。

n=116(回収率 77.9%)

1. 所属機関をお聞かせください。

・病院	8	(6.9%)
・介護施設	74	(63.8%)
・サービス付き高齢者向け住宅・住宅型有料老人ホーム	22	(19.0%)
・介護保険事業所	11	(9.5%)
・その他(治療院)	1	(0.8%)

2. 現在、従事されている職種をお聞かせください。(複数回答可)

・施設長	4	(3.4%)
・看護師	36	(31.0%)
・ケアマネジャー	16	(13.8%)
・相談員	20	(17.2%)
・介護職員	44	(37.9%)
・その他	2	(1.7%)

(鍼灸マッサージ師, 事務員 各1名)

3. 研修会を受講し、ご自身の理解は深まりましたか？

・深まった	100	(86.2%)
・どちらともいえない	13	(11.2%)
・あまり深まらなかった	1	(0.9%)
・無回答	2	(1.7%)

【ご意見等】

- ・施設での看取りの難しさを理解できました。
- ・スタッフの皆さんの不安、今後の取り組みなどを聞くことができて良かったです。
- ・欲を言うなら声掛けの実例も伝えてほしいと思いました。連携の重要性は大変良く理解できましたが連携の中身がイマイチ見えなかったのが残念。
- ・ご本人、ご家族の想いを尊重し、日ごろの言動からご意向に耳を傾けていきたい。
- ・自施設でも看取りケース事例を検討していきたい。とても少ないですが。
- ・発表がわかりやすかった。
- ・今当事業所でも取り組んでいるなか、他事業所の取り組みがとても参考になりました。
- ・他施設での状況がわかり、良かった。
- ・早い段階での終末期から看取りまでの支援について、本人、ご家族と話し合っておくことの必要性について改めて考えさせられました。
- ・GH街さんの話で良いことを話していましたが、資料に記載して後で振り返ってもわかりやすいようにしてほしかったです。

- ・事例を挙げての説明だったので、理解しやすかった。
- ・少人数でのターミナルケアの実情がわかった。
- ・介護職員のメンタルサポートにおいて「不安を声に出し思いを共感」という点で具体的なサポートが見えてこない。
- ・協力病院の構築は難しく、連携体制をどのようにしていったのか聞きたかったです。
- ・実際の取り組み事例を伺う貴重な時間でした。
- ・自施設ではまだ取り組めていないため、とても興味深かったです。
- ・看取りケアの取り組み、介護職の不安など何も勉強せずに日々ケアを行っていました。リアルな細かい現状も教えていただき大変勉強になりました。ありがとうございます。
- ・事例を通してチームケアの大事さ、看取りへの取り組み方、大変参考になりました。
- ・サ高住でのお看取りをしているので、今後も介護員・医療機関と連携しケアしていきたい。

4. 今回のような施設等での取組事例の報告を続けてほしいですか？

・続けてほしい	108	(93.1%)
・どちらともいえない	6	(5.2%)
・続けなくてもよい	2	(1.7%)

【ご意見等】

- ・20年施設で働いています。伝える事例、伝わる事例提供も可能です。もっと幅広く意見を取り入れるHPを開設するのも一つの手段と考えます。
- ・今後このような看取りの場があると思うので、色々な事例を聞きたい。
- ・事例がたくさんあると対応の仕方の種類を増やせるのではと思うので。
- ・他の施設での取り組みを知ることは大切なことです。参考にしながらすすめていきたいです。
- ・事例報告だと参考になり、今後の支援に活用するイメージが付きやすい。
- ・本当は〇〇したら良かった等、失敗例ではないがこういうこともできたなどの細部の部分も知りたいたいと感じました。
- ・他の施設でどのような対応をされているのか知ることができて良かった。
- ・思いは伝わったので看取りを広めることでも続けてほしい。
- ・色々な事例を知ることにより学びにつながるので続けてほしい。
- ・自社事業所の今後の参考となるため。
- ・非常に参考になりました。
- ・サ高住での事例を聞きたい。
- ・続けてほしいです。2つの施設の取り組みを聞いて、介護がチームでの素晴らしい仕事と思えました。
- ・今後施設看取りケアの取り組み方の参考にしたいと思います。
- ・今後施設でのお看取りはもっと増えると思うので、医療・介護関係者だけでなく、一般の人達にも広めてもいいのではないかと思います。

5. その他、ご意見

- ・患者、家族、施設間で情報共有し看取りがうまくいったケース以外にも、上手くいかなかったケース、とても困ったケースなどの事例があれば今後の参考にしていきたい。
- ・施設の方の熱意あるケアがすばらしいと思いました。
- ・ありがとうございました。
- ・病院と施設の連携について研修お願いします。
- ・声掛けばかりが看取りではないことも、介護だけでなく看護師や医師にも伝わるようなケアがあることをもっと知ってほしい。この人が居たら安心、この人の時に死ぬ(いい意味で)と言われるケアが何か、もっと伝えたいことがあります。代表的なもの:手を握ること、目を見ること。
- ・とても分かりやすく、あっという間の1時間でした。ありがとうございました。
- ・とても分かりやすい発表でした。
- ・老健で働いているのですが看取りを行っていないのにご家族に延命の希望の有無を問い、延命を望まない家族に対し施設で点滴をし、経過を見るといいう事例が続いている状態です。延命を望まなければ病院にも行けず、結局施設で息を引き取り、警察が介入するという状態です。医師が看取りを行わない施設はどうしたらいいのでしょうか。
- ・看取りができる施設なら問題ないが、やっていない場合はとても困難があり不安。
- ・普段の日常会話から本人がどのように過ごしてきたか話したことが無いので、今後同じ職場のスタッフとも考え、話しやすい雰囲気などつくっていきけるようにしたいです。
- ・お疲れ様です。私は2年目のまだまだ初心者介護員ですが、すごくわかりやすい説明でした。ありがとうございました。
- ・今後とも看取りについて事例を報告してほしい。
- ・施設側だけでなく、関わりのあった方々の話も合わせて聞けると良かった。
- ・このような流れで行います等の説明会もいいが、このような事例を交えての実際の取り組み方を発表していただく研修会だと学ぶことも多いと感じました。
- ・今回の勉強会を参考にしながら自分の施設でも取り組んでいきたい。
- ・ターミナルとの大きな違いは。
- ・機会があれば当施設に来ていただき、OJT・OFFJTに活用したい。実際の生の声を研修を通しスタッフの知識にしたい。
- ・成功体験ではなく、失敗とまではいかなくても改善点も含む体験をしてみて気づいた点があればより実態に近いものになるのではないかと思います。
- ・成功例だけでなくトラブルになった事例も知れると良いと思う。
- ・病状の説明など家族との密なコミュニケーションは必須と思いました。老人保健施設で働いていますが、看取りと納得されたご家族様もいざその時になると病院へとの話になり、難しいことだと思いました。
- ・2人目の人の話が聞きやすく分かりやすく良かった。自分も自分の周りも意識して取り組んでいけたらいいなと思う。
- ・質疑応答の時間を少しでもとってもらいたいと思った。今後その件の検討をよろしくお願いします。
- ・施設での看取りは日ごろからの利用者さんの関わりが大切だと実感した。看護や介護スタッフとの情報共有もじっくり行いたいと思った。ありがとうございました。

ご協力ありがとうございました。

【各関係団体窓口の一覧について】

こちらの一覧は、研修企画時等に各団体同士が直接連絡を取り合えることを目的に作成、掲載しております。この目的以外でのご活用はご遠慮ください。

センターとしましては、各団体同士がつながることで函館市の医療・介護連携がますます推進していくことを期待しております。この目的に同意していただける掲載団体がさらに増えていくことを想定しており、医療・介護に関係する職能団体の他にも多職種が参加し情報交換や研修会等を企画・運営するような団体等の掲載も考えております。掲載は随時追加を予定しておりますので情報提供のご協力をお願いいたします。なお、掲載する団体等の要件については規定のとおりとさせていただきます。

【各関係団体窓口一覧の作成に関する規定】

函館市医療・介護連携支援センターでは、更なる医療・介護連携体制の強化を目指し、専門職の職能団体同士が直に連携・共同できる環境づくりの一環として医療・介護に関係する団体等の窓口一覧を作成いたしました。

この各関係団体窓口一覧は、各関係団体へ配布させていただく他、当センターホームページへの掲載もしております。

《活用目的》

- 各団体間での相互理解を目的にした意見交換会や研修会等の企画・運営の際の連絡調整のため。

※当センターとしては上記の目的での活用をお願いしておりますが、上記以外での活用については、各団体同士にてご確認いただきますようお願いいたします。

《掲載の条件》

- 函館市内の医療・介護関係者が所属している機関・団体等であること。
- 公益性があり、営利目的ではない機関・団体等であること。
- 函館市医療・介護連携推進協議会に参加している団体からの推薦がある機関・団体等であること。

ホームページ上で掲載した研修情報一覧（平成31年4月～令和2年2月）

月	研修名称（団体名）	件数
4月	函館消化器病懇談会 『高齢者への慢性便秘症診療を切り拓く』 (国立病院機構 函館病院)	2件
	第9回 ICNJ北海道支部 道南ブロック研修会 『尿路感染対策 ～介護（ケア）する側・される側の立場から～』 (日本感染管理ネットワーク北海道支部 支部長)	
5月	地域がん診療連携拠点病院講習会 『胃癌の薬物療法』 『胃癌で死なないために』 (市立函館病院)	4件
	第23回 呼吸ケア研修会 『チームで取り組む呼吸リハビリテーション』 (道南呼吸ケア研究会)	
	函館緩和ケアセミナー 『疼痛管理を目指した薬剤師による地域連携』 『がんサバイバーに対する循環器サポートと緩和ケア～Cardio-Oncologyの現状と今後の課題～』 (函館五稜郭病院)	
	2019年度南渡島地域包括緩和ケアネットワーク 会員総会並びに第13回定例会 『木古内・福島・松前の緩和ケア・在宅ケアの事情について』 (南渡島地域包括緩和ケアネットワーク)	
6月	国立病院機構函館病院 第40回 緩和ケア勉強会 『緩和ケアにおける口腔ケア』 (国立病院機構函館病院)	6件
	令和元年度 北海道介護福祉士会道南支部第1回研修会 『いまさら聞けない介護職と看護職のキモチ・・・』 (北海道介護福祉士会道南支部)	
	令和元年函館市地域ケア全体会議 民生委員とケアマネジャーのための勉強会 『つながる支援の輪』 (保健福祉部地域包括ケア推進課)	
	第11回 函館五稜郭病院 緩和ケア研修会 『がん性疼痛等の身体症状及び精神症状に対する 緩和ケア・コミュニケーションに関する講義、ワークショップ、ロールプレイ等』 (函館五稜郭病院)	
	道南在宅ケア研究会 第50回定例会・会員総会 『サ高住で診る ～がん患者難民を防ぐために～』 (道南在宅ケア研究会)	
	第148回 国立函館病院合同教育講座 『ロボット手術の現状と今後の動向 ～われわれの診療にどう影響するか？～』 (国立病院機構函館病院)	
7月	第36回 函館五稜郭病院がんサーボード 『院内の各チームからの報告』 『領域別がんサーボードからの報告』 『乳腺がんサーボードからの症例報告』 (函館五稜郭病院)	3件
	五稜郭病院感染対策セミナー 『自分自身を護るための感染対策』 (函館五稜郭病院)	
	第78回 五稜郭セミナー 『リウマチ治療に必要な感染症の知識～安全に治療を行うために～』 (函館五稜郭病院)	
8月	第150回 国立函館病院合同教育講座 『膵癌早期発見に向けて ～現状と将来～』 (国立病院機構函館病院)	5件
	2019年度 実践講座「医療同意と意思決定支援」 『医療同意と意思決定支援における諸問題』 『人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドラインについて』 (北海道医療ソーシャルワーカー協会)	
	日本死の臨床研究会北海道支部 秋の研究会 『がんと共に歩む力を ～安心して心開ける第3の居場所』 (道南在宅ケア研究会)	
	認知症市民講座 認知症を見つめなおす 『認知症の人と家族を支える地域づくりに向けて』 『知って安心！楽しく学ぼう認知症 ～MC I、高齢者てんかんも学ぼう～』 (道南認知症疾患医療連携協議会)	
	Care Do 北海道 2019 『地域で暮らし続けるための生活・療養支援』 他 (Care Do 北海道)	

月	研修名称（団体名）	件数
9月	第151回 国立函館病院合同教育講座 『長崎大学病院における医科歯科連携の現状 がん患者の口腔管理と薬剤関連顎骨壊死を中心に』 (国立病院機構 函館病院)	6件
	令和元年度 難病患者在宅療養支援学習会 『神経難病患者を地域で支えるためのネットワークづくり』 (市立函館保健所 保健予防課 感染症・難病担当)	
	口腔ケアから始まる経営戦略 『高齢者施設において誤嚥性肺炎・インフルエンザを予防できた理由(わけ)～多職種連携による口腔ケアの威力～』 『胃癌で死なないために』 (道南圏域在宅歯科医療連携室)	
	テレワークを活用した難病のある人の就労支援ワークショップ 『国の難病就労支援・両立支援の動向とテレワークへの期待』 『テレワークとは？難病のある方のテレワーク事例』 (道南しょうがい者就業・生活支援センターすてっぴ)	
	第152回 国立函館病院合同教育講座 『肝硬変治療の最新知見 体液・栄養・エネルギー管理』 (国立病院機構函館病院)	
	第37回 函館五稜郭病院がんサージカルボード 『緊急事態発生時の対応について～放射線治療編～』 『外来化学療法を受ける高齢者を支える看護』 『がん追跡調査結果報告』 『がん患者の認知症、せん妄の見分け方、対応方法について(仮)』 (函館五稜郭病院)	
10月	第153回 国立函館病院合同教育講座 『乳がんの診断と治療について』 (国立病院機構函館病院)	8件
	2019年度 社会福祉セミナー 「地域課題をとらえるチカラ」ー共生社会の中でー 『あなたは地域の課題を本当にとらえていますか？』 『多様性の尊重と包摂社会は人のためならず』 (北海道社会福祉士会 道南地区支部)	
	2019年度 高齢者および認知症支援のための看護職連携等推進事業 『最期まで自分らしく生きるために準備すること～一緒に考えてみませんか～』 (北海道看護協会)	
	令和元年度 日本ホームヘルパー協会函館支部 北部ブロック研修会 『支える側が支えられるとき』 『訪問介護事業者の業務上トラブルと対策について』 (日本ホームヘルパー協会函館支部)	
	南渡島地域包括緩和ケアネットワーク 第15回定例会のご案内 『地域でアドバンスケアプランニングを普及させるためには』 (南渡島地域包括緩和ケアネットワーク)	
	第154回 国立函館病院合同教育講座 『心不全治療としての構造的疾患インターベンションと解決すべき課題』 (国立病院機構函館病院)	
	整形外科領域 第1回リスク管理アセスメント研修会 『患者さんのこんなサインを見逃すな!』 (函館鍼灸マッサージ師連絡協議会)	
	メディカ体験・説明会 (特定非営利活動法人道南地域医療連携協議会)	
11月	第23回 道南摂食嚥下研究会 『はこだて医療・介護連携サマリー活用症例を通して』～食べるということの大切さを考える～ (道南摂食嚥下研究会)	3件
	2019年度 住民フォーラム 『最期まで自分らしく生きるために準備すること～一緒に考えてみませんか～』 (北海道看護協会)	
	第155回 国立函館病院合同教育講座 『心不全と心拍数の関わり』 (国立病院機構函館病院)	
12月	第157回 国立函館病院合同教育講座 『喘息・COPD ～治療のビットフォール～』 (国立病院機構函館病院)	2件
	第38回 函館五稜郭病院がんサージカルボード 『院内の各チームからの報告』 『領域別がんサージカルボードからの報告』 『がん患者日常臨床における血中循環遊離DNA検査』 (函館五稜郭病院)	

月	研修名称（団体名）	件数
1月	道南在宅ケア研究会 第52回定例会 「認知症初期集中支援チーム」ってなに？ (道南在宅ケア研究会)	3件
	函館鍼灸マッサージ師連絡協議会 研修会 『総合診療医から見たこれからの地域医療のあり方』 (函館鍼灸マッサージ師連絡協議会)	
	2019年度 函館市有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅ネットワーク研修会 『介護従事者に求められるサービスマナー～顧客から選ばれるサービス事業者となるために～』 (函館市有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅ネットワーク)	
1月	函館市訪問リハビリテーション連絡協議会 研修会 『神経難病の一例における連携・タイミング ～チームでの関わり方～』 (函館市訪問リハビリテーション連絡協議会)	3件
	第80回 五稜郭セミナー 『地域における在宅医療の役割』 『アブレーション施行時の抗凝固療法』 (函館五稜郭病院)	
	実践!! 臨床歯科東洋医学 ～未病治ってなんだ?～ 歯科医師の立場から 顎関節症・不正咬合・オーラルフレイル・口腔機能低下症 (函館鍼灸マッサージ師連絡協議会)	
2月	国立病院機構函館病院 第43回 緩和ケア勉強会 『治療と仕事の両立支援』 (国立病院機構函館病院)	1件
合計		46件
(その他)	参考情報提供（函館市外の研修情報）	1件
	函館市医療・介護連携支援センター 主催・共催研修会	11件

令和 2 年度 多職種連携研修計画（案）

(1) 相互理解の促進

① 医療関係者向け研修

- ・日 時：令和 2 年 5 月，令和 2 年 8 月，令和 3 年 2 月
(17:30～18:30 ※2月のみ18:30開始)
- ・場 所：5月…赤十字病院，8月…函館脳神経外科病院，2月…医師会病院
- ・テーマ（案）
介護施設について（種別と受け入れ条件，医療従事者の有無等）
訪問看護師の機能と役割（できる事，利用までの流れ，医療機関との連携等）
- ・講 師：未定

② 介護関係者向け研修

- ・日 時：令和 2 年 5 月，令和 2 年 8 月，令和 3 年 2 月（18:30～19:30）
- ・場 所：函館競輪場テレシアター
- ・テーマ（案）
函館市の医療と介護の現状と今後の課題（事例等）
高齢者の身体的特徴と疾患について（観察ポイント，報告の仕方等医療との連携）
- ・講 師：未定

③ オープンカンファレンス

④ 研修会コーディネート

→医療・介護各関係団体窓口一覧の更新（団体の追加検討）

(2) 連携強化

① 看取り

1) 大規模研修会

- ・日 時：令和 2 年 11 月 21 日（土）14時～17時
- ・場 所：国際ホテル
- ・テーマ（案）：在宅・施設・病院それぞれの多職種による看取り場面の ACP の在り方
- ・内 容：シンポジウム・グループワーク

2) 施設看取り研修会

- ・他団体との共催で継続開催を予定する。

3) 在宅看取り研修会

- ・日 時：令和2年10月ころ
- ・内 容：アンケート結果の報告と在宅看取りの好取組事例報告
- ・対象者：在宅支援専門職（開業医・訪問看護師・ケアマネ・ヘルパー等）

② 入退院支援

1) 『はこだて入退院支援連携ガイド』活用促進研修会（退院支援分科会主催）

2) 『入退院支援連携強化研修会』（情報共有ツール作業部会主催）

③ 急変時対応（急変時対応分科会実務者会議主催）

(3) 多職種連携の専門性の向上

① 函館市における多職種連携への理解の促進

- ・出張講座メニューの追加・更新し周知，案内を継続する。
- ・団体窓口一覧掲載する際の案内文書に出張講座メニューの周知・案内も追加する。

(4) 人材育成

① センター主催研修会への見学参加

- ・市内の医療系・福祉系の教育機関の教員と学生対象に研修案内・出前講座を継続する。
- ・年度初めの研修会参集案内メールに，出前講座メニューの周知・案内も追加する。
- ・令和2年4月～函館市医師会看護・リハビリテーション学院を追加する。

令和2年 月 日

記入用紙

函館市医療・介護連携支援センターあて

TEL：0138-43-3939

FAX：0138-43-1199

Mail：ikr-center@hakodate-ishikai-hp.jp

○議事内容説明，配布資料に関してのご意見等

--

所属団体名		氏名	
-------	--	----	--